

五和工業 株式会社

除湿技術で空気を活かす

事業概要と躍進の契機

Turning Points

五和工業(株)のコア技術は、湿り空気中の水分を除去し低湿度(空気温度20℃、相対湿度0.5%以下)の空気をつくりだす除湿技術である。空気中の水分は工業製品の製造過程において製品の品質劣化の原因となる場合が多く、特に

高機能プラスチック・医薬製剤・リチウムイオン電池・半導体分野において低湿度の要求が増大している。同社は特にリチウムイオン電池の研究開発用設備及び生産用工場設備の開発に注力している。

会社の強み

Strength

同社は、低湿度の空気を作る 低湿度を制御する 低湿度の空気を利用する製品を開発・製造している。

低湿度環境室:ドライ&クリーンルーム

精密プラスチック成形機用材料乾燥機:「ピッコロ」クリーン度クラス100

恒温恒湿槽:「EquDryer」低湿度域(5℃、相対湿度10~90%)制御が精密に行える

これらは独自のアイデアと開発努力で作り上げてきた商品群である。

さらに低湿度技術と応用技術開発を進めるため、研究所の開設を予定している。



研究用ドライルーム

今後の事業展開

Vision

ハイブリッド自動車市場の拡大・電気自動車(EV)・家庭用蓄電システムの開発と普及が現実のものとなっている。

それらに使用される高性能電池の製造環境設備に弊社のコア技術(低露点・省エネ性能)が活かされている。

企業データ

Data

所在地 : 京都市南区唐橋西平垣町35
 TEL : 075-681-2303
 設立 : 2001年
 代表者 : 代表取締役 小笠原 稔
 従業員 : 7名
 資本金 : 1,000万円
 事業内容 : 低湿度関連設備の製造販売



株式会社 エイコム

研究者と実験動物のストレスを軽減する自動血液サンプリング装置

事業概要と躍進の契機

Turning Points

1986年伏見区において各分野のエキスパートが集結し、(株)エイコムを設立。脳をはじめとする組織や臓器から神経伝達物質をサンプリング後測定するマイクロダイアリシス分析システムを開発。その後、神経伝達物質であるモノアミ

ンを測定できる他に類を見ない性能の電気化学検出器を開発。VECの支援及び創造法の認定を受けて開発をすすめ国内随一のメーカーとなる。近年海外からの受注増加のため米国に支店を開設する。

会社の強み

Strength

同社が開発した「自動血液サンプリング装置」は医薬品開発など、血液中に投与した薬物や生体ホルモンの経時的濃度変化を追跡する際に使用される。

研究者が通常24時間以上かつ複数匹にわたる実験動物からの血液の採取は、両者にとって多大なストレスとなり、一定時間毎ということも考えると正確なデータ採取ができない状況にあると考えられている。

このような状況にある多くの研究者からの需要を受け国内外初の製品化を実現、現在、製薬メー

カー及び大学より多くの受注を受け販売台数を伸ばしている。



今後の事業展開

Vision

今後は採血するだけでなく、薬物を自動注入できるシステムの開発を行っている。薬物の注入時間を正確に管理できれば、より

正確なデータ分析を行うことができ、医薬品開発の発展すなわち未来の私たちの健康に貢献できると考えられる。

企業データ

Data

所在地 : 京都市伏見区下鳥羽北円面田町113
 TEL : 075-622-2112
 設立 : 1986年
 代表者 : 代表取締役 大窪 茂
 従業員 : 24名
 資本金 : 4,500万円
 事業内容 : 分析機器製造販売



株式会社 エスケーエレクトロニクス

大型総合フォトマスクのパイオニア

事業概要と躍進の契機

Turning Points

(株)エスケーエレクトロニクスは、2001年に(株)写真化学の電子部門より分社独立し、フォトマスクメーカーとして誕生した。1988年に世界ではじめて大型電子ビーム描画装置によるフォトマスクを製造。

以来、今日まで液晶パネル用フォトマスクのパイオニアとして、顧客のニーズに対応するため材料メーカー、装置メーカーといったいとなって技術開発に努め、独自のノウハウと各メーカーとの信頼を基盤に成長を続けている。

会社の強み

Strength

同社は、液晶パネル用大型フォトマスク市場では、世界2位である。2005年4月には、京都府の久御山事業所に最新鋭の新工場を稼働させ、大型サイズかつ高精細のフォトマスクの量産に成功し、技術力もトップレベルとなった。パネルメーカーの生産工程を削減することが可能なグレイトーンマスクやハーフトーンマスクなどの多諧調マスクも積極的に開発を行うなど、顧客のニーズをいち早く取り入れることにより、差別化を図っている。



今後の事業展開

Vision

「知恵と情熱による未来価値の創造に向かって」をスローガンに、これからも価値ある製品作りを通して、エレクトロニクス産業に貢献す

るとともに、その未来を見据え、将来の柱となる新規事業への取り組みをはじめていく。

企業データ

Data

所在地 : 京都市上京区東堀川通り一条上ル堅富田町436-2
 TEL : 075-441-2333
 設立 : 2001年
 代表者 : 代表取締役 野上 良忠
 従業員 : 229名
 資本金 : 3,729万円
 事業内容 : 大型総合フォトマスク事業、回路検証支援ツール事業



エルティアイ 株式会社

蓄光関連品製造卸

事業概要と躍進の契機

Turning Points

阪神大震災やニューヨークでのテロの犠牲を目の当たりにし、災害時、停電状態の暗闇の中でも蓄光による緊急避難誘導で人命救助に貢献するため同社を2001年に設立した。

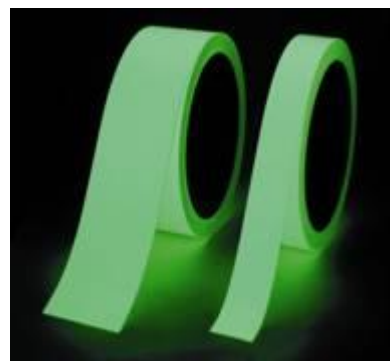
高輝度の蓄光テープや蓄光式の避難誘導標識を中心に製造販売を行っており、同社の蓄光製品は、消防防災設備等認定品の指定も受け、公共施設などに導入されている。

会社の強み

Strength

2006年3月の消防庁の告知改正が発表され、誘導灯及び誘導標識の基準に蓄光式避難誘導標識が追加された。この背景の下、評定済み商品としてシートタイプの標識やテープの提案を公共施設や民間工場などに提案し、導入が進んでいる。

同社の製品は、シートタイプであるため、従来の避難誘導灯に比べコストが5分の1程度で済むことや電力を消費しないこともあり、安全の上、コストダウン効果も期待できる商品である。



今後の事業展開

Vision

蓄光関連品の開発をすすめ、テープや標識意外に、塗料やコーキング材など用途を広く考え

より身近な商品として提案していく。

企業データ

Data

所在地 : 京都市下京区五条室町西入東鋸屋町189クマガイビル5F
TEL : 075-344-6111
設立 : 2001年
代表者 : 代表取締役 坂部 昌一
従業員 : 9名
資本金 : 2億209万円
事業内容 : 蓄光関連製品の製造卸



尾池工業 株式会社

フィルム製品加工事業を通して、新たな価値を創造する

事業概要と躍進の契機

Turning Points

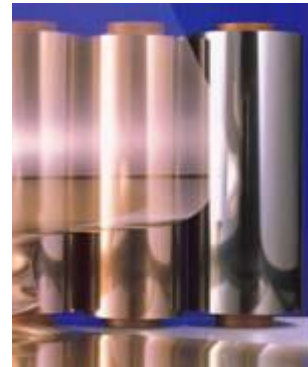
尾池工業(株)は、京都の伝統産業である金銀糸の製造販売を原点とし、1876年創業。金銀糸事業のパイオニアとして事業を伸ばしてきた。1955年京都市工業研究所で研究中であった真空蒸着技術に着目、1956年に国産初の真空蒸

着機を開発導入し、金銀糸用蒸着フィルムの量産化を実現した。これを契機に、転写箔や包装材料、工業材料など真空蒸着製品の事業躍進につながった。

会社の強み

Strength

ロール状のプラスチックフィルム表面に真空蒸着技術やスパッタリング技術などを用いて金属や金属化合物の膜を連続に製膜するドライコーティング技術と、有機や無機のハイブリッド塗料を均一に連続塗布するウェットコーティング技術を基盤技術とし、プラスチックフィルム表面に高品質で高機能の膜を形成し、付加価値の高い製品を提供している。基盤技術のさらなるブラッシュアップに挑戦、新たな製膜技術の開発や、新製品の開発、新事業の開発に積極的に取り組んでいる。



今後の事業展開

Vision

デジタル関連製品の需要増加により、タッチパネル用透明導電性フィルムやプラズマ、液晶ディスプレイ用光学フィルム、フレキシブル回

路基板用導電性フィルムの売上は堅調。環境関連製品や自動車関連製品の事業領域拡大も目指している。

企業データ

Data

所在地 : 京都市下京区仏光寺通西洞院西入ル木賊山町181
 TEL : 075-341-2151
 設立 : 1876年
 代表者 : 代表取締役 尾池 均
 従業員 : 530名
 資本金 : 2億240万円
 事業内容 : フィルム製品加工事業



京都電子工業 株式会社

ヒトと地球の美しい共生をテーマに - 確かな分析機器の提供 -

事業概要と躍進の契機

Turning Points

京都電子工業(株)は、分析機器専門メーカーとして1961年設立された。化学分析の基本である滴定装置をはじめ水分計など素材開発や品質管理に欠かせない分析機器を国内外問わず製造販売している。また、環境計測器の煙道排

ガス中の塩化水素をモニターする濃度計は、非常に安定した独自の測定方法によって、シェアを常に90%以上を占めている。この他にも熱製品など独占的なシェアをもった製品を生み出している。

会社の強み

Strength

分析機器は、化学の知識をはじめ、物性、光学、電子工学、機械工学など科学技術を集約させることで出来る機器である。京都電子工業(株)は、分析に関わる技術の長年の蓄積によって優れた製品を開発している。

同社は、小さいながら研究開発から製造及び販売・サービス部門を擁する総合力を備えた企業で、その製品開発から販売・サービスまでの一貫性によって、各部門の意見が製品に反映されることが強みになっている。



今後の事業展開

Vision

今後は、研究者、技術者から製造、営業員まで全ての社員がマーケット要員としての確かなニ

ーズを把握する。また、燃料電池など、新しい社会ニーズにも保有技術の展開をしていく。

企業データ

Data

所在地 : 京都市南区吉祥院新田二の段町68
TEL : 075-691-4121
設立 : 1961年
代表者 : 代表取締役 勝木 謙三
従業員 : 260名
資本金 : 3,000万円
事業内容 : 分析機器製造販売



株式会社 京都有機化学研究所

天然物有機試薬のグローバルスタンダードを目指す

事業概要と躍進の契機

Turning Points

株京都有機化学研究所は、クロマトグラフィー用充填剤、特殊合成試薬製造会社としてスタートした。多種多様な反応を行い、触媒や酵素反応を用いて合成した試薬は、化学工業だけでなく、製薬、電子工業等々さまざまな分野で広く用いら

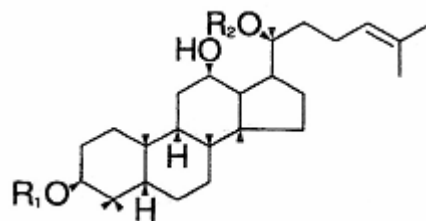
れている。さらに天然物有機試薬の開発に着手し、現在ニーズにあった製品開発に取り組んでいるところである。

会社の強み

Strength

クロマトグラフィーは化合物をを分離精製する技術である。同社はクロマト用充填剤を製造する技術とカラムに充填する技術を合わせ持つ。この技術を応用することにより、分離・精製しようとする化合物の物性に合わせたオーダーメイドカラムの供給が可能となった。コストのかかるカラムを自社製品とすることで、安定的に安価な高純度試薬の製造が可能となっている。

天然物有機試薬(標準品)の一例



今後の事業展開

Vision

今後は標準品の種類を増やしていくだけではなく、安定同位体ラベル化による標準品化技術の確立を目指す。この技術開発により、希少

サンプルにおける、迅速かつ正確な分析が可能となる。受託分析・分取精製分野への進出を図りたい。

企業データ

Data

所在地 : 京都市左京区静海市原町1182
 TEL : 075-741-3700
 設立 : 1981年
 代表者 : 代表取締役 久保田 和孝
 従業員 : 6名
 資本金 : 1,000万円
 事業内容 : 標準品試薬製造販売及び各種受託分析



佐々木化学薬品 株式会社

プラスチック乾燥材、エスキッド、ドライキープ

事業概要と躍進の契機

Turning Points

佐々木化学薬品(株)は試薬、工業薬品等の販売からスタートし、金属表面処理剤、洗浄剤等の自社製品の開発に取り組んできた。洗浄溶剤の再生を試みる中、脱水用に研究していた乾燥剤との出会いが契機となり、研究

するうちに、「プラスチックに練り込んでみてはどうか」との発想からエスキッド、ドライキープが生まれた。

会社の強み

Strength

佐々木化学薬品(株)が開発したプラスチック乾燥材であるエスキッド、ドライキープは国内、米国、ヨーロッパ等で特許を取得している。エスキッドとは、樹脂に乾燥剤を練り込んだペレット状の製品であり、樹脂ペレットであることからプラスチックの出来る加工は全て行える。加工によって出来た成型品はそれ自体が乾燥機能を持った成型品となる。これがドライキープである。ドライキープはフィルム、容器等の成型品自体が乾燥機能を持つ事で、乾燥剤投入を必要としない強みが出てくる。また、その性能もこれまでの

乾燥剤と異なる特徴を持っている。



今後の事業展開

Vision

原料であるエスキッドを販売する事で、独自の開発能力のある協力会社様の協力を得て、よりよい製品を開発していこうと検討している。

ドライキープの提供により、包装の簡素化に貢献する。

企業データ

Data

所在地 : 京都市山科区勸修寺西北出町10
 TEL : 075-581-9141
 設立 : 1946年
 代表者 : 代表取締役 佐々木 智一
 従業員 : 98名
 資本金 : 2,100万円
 事業内容 : 試薬、工業用薬品販売、表面処理剤の開発、製造、販売



コフロック 株式会社

「匠の技」で流量計を極める 気体の微量流量域でトップシェア

事業概要と躍進の契機

Turning Points

コフロック(株)は、1949年に創業者が分析機器メーカーの下請け、工業用流量計の計測管のガラス加工からスタートした。最初の転機は、1952年、小型流量計への採用。これは同社の技術により硬質ガラス管に高い付加価値を付与したものである。新事業の展開のきっかけは、1985年から電子式流量計をスタートさせ、2003年、

近畿経済産業局に開発案件が採択されてスタートしたMEMS技術によるチップセンサー搭載のマイクロ流量センサーの開発と製品化である。これにより省エネ・小型化・高精度・高速応答・低価格化を実現した。現在国内シェアで圧倒的な優位性を誇る中～少・微量流量での更なる深耕を目指して積極的に取り組んでいる。

会社の強み

Strength

同社は創業以来、分析機器、医療機器などに組み込まれる流量計、特に小型流量計を得意分野としている。中でも毎分100mL以下の微量タイプは国内シェアは寡占状態で、大手メーカーを含め高い評価を得ている。また電子式流量計にも力を入れており、MEMS技術を応用したチップセンサー内臓のマイクロフローセンサーを新規に発売するなど新製品開発にも積極的に取り組んでいる。一方、窒素・酸素・オゾンガス発生装置も事業の

柱として工業及び医療分野、食品加工分野など幅広い事業展開を行っている。近年、グローバル化も強力に進めており、欧州、アメリカ、韓国、中国などを中心に3年間で30%に引き上げる計画となっている。



今後の事業展開

Vision

創業以来一貫して取り組んできている微量流量域の計測制御を徹底的に追及した製品づくりに徹していく。具体的には産学官連携などに

より流量計で新センサーの開発に取り組んでおり、これらを付加価値の高い製品づくりに結び付けることで更なる飛躍を狙っていく。

企業データ

Data

所在地 : 京田辺市草内当ノ木1-3
 TEL : 0774-62-4411
 設立 : 1974年
 代表者 : 代表取締役社長 小島 久壽
 従業員 : 230名
 資本金 : 4億円
 事業内容 : 流量計、流体制御バルブ、各種流体制御装置、ガス発生装置等の製造販売



長島精工 株式会社

機械精度を10年間保証

事業概要と躍進の契機

Turning Points

当初は輸入工作機械の修理・オーバーホールから開始したが、大手電器メーカーからの依頼により、工作機械のなかでも「産業のコメ」と言われる金型製作や超硬・セラミックなどの難削材加工にはかかせない「超精密成形平面研削

盤」という機械を開発した。同社の研削盤は世界に類を見ない切込み追従・復元精度(±0.001mmを10年保証)を誇り、超精密加工分野に幅広く受け入れられるようになった。

会社の強み

Strength

同社は「キサゲ摺り合わせ」という手作業による機械製作を行っている。超精密加工や高能率加工を長期間に亘って安定して行う為の工作機械にはなくてはならない製作手法だが、今や国内でこの製作手法を可能に出来るのは同社しか存在せず、国内は言うに及ばず、海外からも多くの引き合いがある。特に中国では西安に独自の製造販売会社を設立し、日本と同等の機械を提供している。最近では国内第3工場の建設に着手し、より効率化された生産体制を構築し、ユーザーの要望による新製品の開発、拡充に邁進していく。



今後の事業展開

Vision

従来の「超精密成形平面研削盤」に加え多くの製作依頼がある「超精密外径研削盤」の生産拡大や設立当初から評価されている修理・

オーバーホール部門の拡充により、会社運営の安定を目指す。

企業データ

Data

所在地 : 城陽市久世八丁74-5
TEL : 0774-53-8118
設立 : 1977年
代表者 : 代表取締役 長島 善之
従業員 : 40名
資本金 : 1,000万円
事業内容 : 各種研削盤及び特殊繊維機械製造販売



株式会社 山岡製作所

精密金型のYAMAOKA

事業概要と躍進の契機

Turning Points

株山岡製作所は、株式改組以後53年目を迎え、小型・薄物製品を中心に、超精密金型、小型サーボプレス機、汎用・専用自動機的设计製作並びに精密プレス加工を事業のコアと位置付けている。

創業当時より被加工材は薄物金属が主流であったが、1975年頃よりフィルム、テープ、種々化学積層材等の非金属素材の精密打ち抜き加工にも取り組み、様々な精密金型、各種自動機を顧客に提供している。

会社の強み

Strength

同社は、精密プレス金型メーカーとして長年の経験や実績の積み重ねをコア技術とし、顧客の悩みや困りごと、顧客の様々なニーズを反映させた提案を行っている。

生産性の向上、歩留り率の向上だけに止まらず、少量多品種対応や段取り換えの省力化・短時間化を実現する精密金型プレス生産設備や各種省力機器等を设计製作すると同時に、アフターサービスとメンテナンスを一貫して行っている。

各種、精密金型と生産設備



今後の事業展開

Vision

行動理念「私達はお客様の満足と環境を考え行動します」を基に、今後は精密金型技術をコアにターゲットとする金型分野でトップシェアを

力強く目指し、常に顧客のニーズを先取りし信頼される商品、サービスを提供していく。

企業データ

Data

所在地 : 城陽市平川横道93
 TEL : 0774 - 55 - 8501
 設立 : 1954年
 代表者 : 代表取締役社長 山岡 祥二
 従業員 : 150名
 資本金 : 6,240万円
 事業内容 : 精密部品・精密金型・プレス加工・メカトロニクス



京都府

福知山市

株式会社 浅田可鍛鑄鉄所

徹底した原価低減と新素材の開発でオンリーワン企業目指す

事業概要と躍進の契機

Turning Points

(株)浅田可鍛鑄鉄所は、輸送用機械器具向けの鑄鉄品製造会社として1916年に操業を開始した。当初は自転車向けの商品が多かったが、モータリゼーションに合わせ、自動車産業へ進出。その後建設機械・産業機械にも拡販し、素

材から機械加工と一貫生産を行っている。また、1995年に新素材『溶接できるダクタイル鑄鉄』を開発し販売を開始。以後も研究開発を続け、その成果より、昨年(財)京都産業21より『京都府中小企業技術大賞』を受賞。

会社の強み

Strength

徹底した少人数生産により、自動車・建設機械向けの量産・小物鑄鉄品については、国内において競争力が高い。特にデフケースといわれる自動車向けの差動ギヤケースについては、国内シェアの約10%を生産している。

また、『溶接できるダクタイル鑄鉄』に続き、『高温接合可能な鑄鉄』も開発に成功。さらに、『中空鑄鉄』の開発を進め、コストはもとより、開発型企业としてオンリーワンを目指している。



今後の事業展開

Vision

自社の持ち味を活かし新規顧客の開拓による拡販を進める一方、品質を切り口にした原価低減を一層強める。

同時に、新素材開発に注力し、『中空鑄鉄』の量産化を実施していく。

企業データ

Data

所在地 : 福知山市長田野町1-29
TEL : 0773-27-2058
設立 : 1948年
代表者 : 代表取締役 浅田 章介
従業員 : 94名
資本金 : 4,500万円
事業内容 : ダクタイル鑄鉄品の製造及び機械加工



ミタケ電子工業 株式会社

省エネ時代の電気式面状発熱体

事業概要と躍進の契機

Turning Points

ミタケ電子工業(株)は、半固定抵抗器の専門メーカーとして1969年に創業。大手電機会社の協力会社として基板を築きあげつつ、独自の抵抗体技術を活かし特殊インクの研究・開発に取り組み、1992年にPTCインク(自己温度制御)を

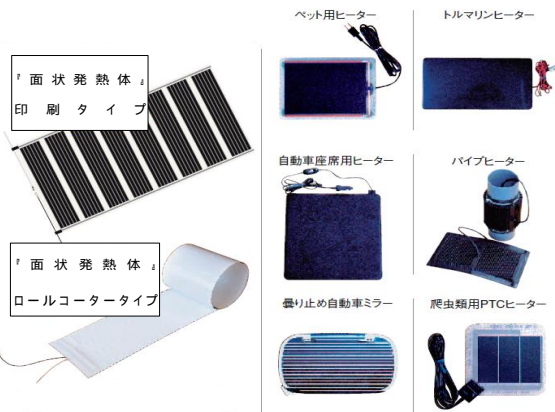
完成。更にPTCインクを利用し面状発熱体を製品化。(フレキシブルシート)抜群の安全性、施工性と省エネ性(消費電力約40%削減使用条件により)により床暖房シートやその他多くの電気式熱源として多用途で活躍中。

会社の強み

Strength

自社開発のPTC用印刷インク(日本特許第3351697号)を基本技術として 住宅関係、家電関係、医療関係、車両関係、農業・食品関係 岩盤浴・サウナ関係など極めて広範囲な分野で採用される。

印刷タイプのPTC面状発熱体及びロールコータータイプ面状発熱体を各メーカー消費者の要望に合わせ納得のいく安全設計・製作ができることは、他社の追随を許さない。海外からも引き合いがあり、各方面から高い評価を獲得している。



今後の事業展開

Vision

各種製品の自動化生産技術を確立し、更なる生産性向上と品質安定、コスト低減化を目指して、真に価値ある機能性と複合技術の確立

に向け邁進中。
また、中国など海外進出にも積極的に取り組む。

企業データ

Data

所在地 : 福知山市新庄747
TEL : 0773-23-4588
設立 : 1984年
代表者 : 代表取締役 池田 正男
従業員 : 20名
資本金 : 1,000万円
事業内容 : PTC面状発熱体の製造、販売



株式会社 栗田製作所

プラズマイオン注入・成膜装置、大面積DLCコーティング

事業概要と躍進の契機

Turning Points

株栗田製作所は、経済変化から下請け脱皮を余儀なくされ、培ってきた高電圧パルス電源技術で技術立社を目指した。1990年から「小さくても一流の製造メーカーになる」を合い言葉に、産学官連携の支援プロジェクトに参加して勉強してきた。

1995年にプラズマイオン注入・成膜技術に出会い、その実用化に夢をかけた。大学と公設試(産総研他)と公的資金の支援でイオン注入・成膜装置を開発し、続いてDLC(ダイヤモンドライクカーボン)膜を商品化した。

会社の強み

Strength

1998年に産総研・関西センターと開発した関西発のプラズマイオン注入・成膜法は、一秒間に数千回もの成膜(ナノ厚さ堆積)・イオン注入・成膜・注入を繰り返して、所望の厚さまで成長させるのが特長である。また、大型立体物や大面積物に処理が可能であり、現在、同法装置のオンリーワン企業として評価を得ている。本装置を用いたDLC膜のコーティングでは、大きな平板(80cm角)に均一に成膜できるため、予期しない用途が開けた。昨今、ブレークスルーを目論む顧客から、さまざまなニーズが寄せられ、日々に課題解決に努力している。その中から、新技術・新製品を

生み出しつつある。



今後の事業展開

Vision

真空中でのパルスプラズマ電源技術を、減圧(0.1~0.5気圧)領域や常圧域(大気圧)プラズマ処理装置に展開している。

最近では、水中での炎状プラズマの連続運転に成功した。この応用と実用装置開発を急ぎ、新規分野への展開を図る。

企業データ

Data

所在地 : 綴喜郡宇治田原町 宇治田原工業団地
 TEL : 0774-88-4811
 設立 : 1960年
 代表者 : 代表取締役 栗田 好雄
 従業員 : 63名
 資本金 : 2,000万円
 事業内容 : 高電圧パルス電源、プラズマイオン注入成膜装置



京都府

久世郡

ニューリー 株式会社

スキャナウェイを邁進するニューリー

事業概要と躍進の契機

Turning Points

ニューリー(株)は精密機器製造技術者集団として12人から下請け企業として1979年に発足した。カメラ製版から電子製版に移り変わる時流に乗り、100人を超すエンジニアリング下請け企業に成長したが、近年は時代の変化に伴い、生き

残りを掛けて脱・下請けを掲げ、得意ジャンルの画像処理技術を生かして、2001年より、新体制でユニークな新コンセプトスキャナ開発に挑み、現在多くの産業、文化に読取技術で貢献している。

会社の強み

Strength

スキャナのかつての常識を破り、スキャナが不得意とした立体物の読取りを可能とし、更にカメラでは出せない平面精度、微細立体質感を捉える、ニューリーが提唱する従来のスキャナでもなく、カメラでもない、新コンセプトスキャナ「スキャメラ」シリーズは発想、技術共にオンリーワンおよびNO.1と自負している。現在ラインナップが増え、36分野、20機種以上のスキャメラが産業、文化保存に貢献している。産業向けとしては目視検査や計測の機械化、文化保存向けとして

は、2m×2mまでのサイズが読取りできる超大スキャメラを開発し、襖、屏風、地図の原画保存やレプリカ制作向けにバリュースキャンサービスビジネスとして貢献している。



今後の事業展開

Vision

バイオ、メディカル等向けのマイクロ、ナノの検出を要する分野や、食品・食材衛生検査等の環境保全に貢献できる機種の開発も進んでおり、

同時に未開拓の超大判の文化保存への展開も行い、読取技術に関わる分野を更に開拓する計画である。

企業データ

Data

所在地 : 久世郡久御山町佐古外屋敷125
TEL : 0774-43-3011
設立 : 1979年
代表者 : 代表取締役 井田 敦夫
従業員 : 140名
資本金 : 5,584万円
事業内容 : 電子機器開発製造

